第45回日本認知症学会学術集会 第41回日本老年精神医学会 合同大会
オンデマンド配信一覧

※ポスター発表、共催セミナー、市民公開講座、研究者交流プログラムのオンデマンド配信はありません。

セッション名	演題番号	演者名　※敬称略	演題名	オンデマンド配信
会長講演	CL	新井 哲明	認知症の未来を共に創る― 神経病理から社会実装へ：30年の軌跡と展望 ―	○
特別講演	SL	堀江 勘太	Deep Human Biology Learningに基づく認知症治療薬並びにバイオマーカー開発	○
特別企画	SP-1	山﨑 博輝	最近の認知症施策の動向	○
特別企画	SP-2	福田 光紀	共生社会の実現に向けて経済産業省が進める認知症施策について	○
海外招聘講演1	IL1	Edward B. Lee	When One Target Isn't Enough: Rethinking Neurodegeneration	確認中
海外招聘講演2	IL2	John O'Brien	Dementia with Lewy Bodies: Recent Advances and Future Directions	確認中
海外招聘講演3	IL3	Szofia S. Bullain	Alzheimer's Drug Development: Progress, Lessons, and Future Directions	○
海外招聘講演4	IL4	Yi-Wei Chang	Native-State Structural Biology of the Vulnerable Brain	確認中
プレナリーレクチャー1	PLL1	岩坪 威	アルツハイマー病：疾患修飾療法の現状と課題	○
プレナリーレクチャー2	PLL2	池田 学	前頭側頭型認知症の治療とケア	○
プレナリーレクチャー3	PLL3	服部 信孝	パーキンソン病の原因を追って	○
プレナリーレクチャー4	PLL4	井上 治久	患者iPS細胞とAIによる神経変性疾患の研究	×
プレナリーレクチャー5	PLL5	朝田 隆	認知症の予防：Lancetの14危険因子をどう読む？	○
学術教育講演1	EL1	和佐野 浩一郎	認知症やフレイルとの関連から考える健康寿命延伸における難聴対策の重要性	○
学術教育講演2	EL2	飯島 節	認知症高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア	○
学術教育講演3	EL3	成本 迅	認知症と消費者被害：医療者に求められる視点と実践	○
学術教育講演4	EL4	上村 直人	認知症と自動車運転：最新の評価と支援	○
学術教育講演5	EL5	小原 知之	地域高齢住民における認知症有病率の時代的変化とその要因：久山町研究	○
学術教育講演6	EL6	小林 正朋	AI・デジタル技術による認知症スクリーニング支援	×
学術教育講演7	EL7	鈴木 啓介	アルツハイマー病の治験における課題と展望	○
学術教育講演8	EL8	池田 研二	温故知新 ー神経病理からみた認知症ー	○
学術教育講演9	EL9	三條 伸夫	プリオン病の早期診断と治療法の開発	○
学術教育講演10	EL10	春日 健作	認知症診療における血液バイオマーカーの進歩	○
学術教育講演11	EL11	田中 惠子	自己免疫性脳炎の診断・治療―Up to Date	○
学術教育講演12	EL12	渡辺 亮平	神経変性疾患における蛋白質凝集体の構造解析	○
シンポジウム1	SY1-1	Michael Irizarry	Subcutaneous Lecanemab for Treatment of Early Alzheimer's Disease	○
シンポジウム1	SY1-2	Janice Smith	Latest results and developments for trontinemab in Alzheimer's disease (AD)	○
シンポジウム1	SY1-3	Stephane Epelbaum	Donanemab for Early Symptomatic Alzheimer's Disease: Amyloid PET Dynamics	○
シンポジウム1	SY1-4	Amanda Edwards	Results from a Phase 2 Study Assessing Diranersen in Early Alzheimer's Disease	○
シンポジウム1	SY1-6	Janice Wong	PHASE 2B AUTONOMY TRIAL OF POSDINEMAB FOR EARLY ALZHEIMER'S DISEASE	×
シンポジウム2	SY2-1	中川 幸姫	αシヌクレイン構造と脱凝集機構から読み解く病態基盤	×
シンポジウム2	SY2-2	鈴掛 雅美	病態モデル動物を用いたαシヌクレイン伝播抑制手法開発の試み	×
シンポジウム2	SY2-3	上村 紀仁	疾患特異的αシヌクレイン線維の病的活性	○
シンポジウム2	SY2-4	奥住 文美	体液中αシヌクレイン凝集体の超高感度検出が拓く病態解明	○
シンポジウム2	SY2-5	遠藤 浩信	αシヌクレインPETを中心とする分子イメージングが切り拓く病態理解	×

第45回日本認知症学会学術集会 第41回日本老年精神医学会 合同大会
オンデマンド配信一覧

※ポスター発表、共催セミナー、市民公開講座、研究者交流プログラムのオンデマンド配信はありません。

セッション名	演題番号	演者名　※敬称略	演題名	オンデマンド配信
シンポジウム3	SY3-1	村松 里衣子	細胞外TDP43による線条体アストロサイト活性化を介した神経機能障害	×
シンポジウム3	SY3-2	武内 敏秀	エクソソーム分泌異常とALS/FTD	×
シンポジウム3	SY3-3	山中 宏二	ALSにおけるTDP-43病理形成機序とその制御	○
シンポジウム3	SY3-4	坂上 史佳	TDP-43タンパク質を標的とした核酸医薬の開発	○
シンポジウム3	SY3-5	浅川 和秀	ゼブラフィッシュモデルから探るTDP-43の細胞毒性メカニズム	○
シンポジウム4	SY4-1	三輪 佳織	脳小血管病を理解する：病態と臨床への応用	○
シンポジウム4	SY4-2	植田 明彦	脳小血管病の病態	×
シンポジウム4	SY4-3	池田 宗平	脳小血管病の画像バイオマーカー：見えない脳障害を捉える	×
シンポジウム4	SY4-4	海野 真記	抗Aβ抗体治療時代の脳画像診断：ARIAを中心に	×
シンポジウム4	SY4-5	尾原 知行	脳小血管病の治療戦略　遺伝性脳小血管病も含めて	○
シンポジウム5	SY5-1	藤城 弘樹	DLBの5臨床ドメインについて	○
シンポジウム5	SY5-2	坪井 崇	パーキンソン病診療の現在地：多様性と個別化への展望	○
シンポジウム5	SY5-3	小林 良太	老年精神医学の立場からレビー小体病を考える	○
シンポジウム5	SY5-4	三橋 泉	iRBDからPD/DLBへの表現型変化を中心に	○
シンポジウム6	SY6-1	船山 道隆	前頭側頭型認知症の常同行動の機序を探る	○
シンポジウム6	SY6-2	坂井 麻里子	前頭側頭型認知症の食行動異常への対応	○
シンポジウム6	SY6-3	髙﨑 昭博	前頭側頭型認知症の言語症状への対応	○
シンポジウム6	SY6-4	品川 俊一郎	前頭側頭型認知症の触法行為の現状と対応	○
シンポジウム7	SY7-1	小泉 修一	アストロサイトの異常貪食が駆動する白質変性：アレキサンダー病から認知症まで	○
シンポジウム7	SY7-2	長井 淳	神経回路変調におけるアストロサイトの役割	○
シンポジウム7	SY7-3	他田 真理	認知症関連疾患におけるグリア細胞病理：形態診断から分子病態理解へ	×
シンポジウム7	SY7-4	髙鳥 翔	TREM2/INPP5D軸からみるアルツハイマー病グリア応答	×
シンポジウム7	SY7-5	梶 誠兒	ミクログリアとApoEがもたらすアミロイド斑の質的変化	×
シンポジウム8	SY8-1	徳田 隆彦	国際的な認知症疾患血液バイオマーカー開発研究の現状とQST/OMUでの独自の取り組み	×
シンポジウム8	SY8-2	工藤 喬	実臨床コホートで読み解く血漿p-tau217――現状と、次の一手	○
シンポジウム8	SY8-3	堀江 勘太	3＆4リピートタウ混合タウオパチーの脳内病理を反映する体液バイオマーカー	×
シンポジウム8	SY8-4	後藤 良司	シヌクレイノパチーに対する最新の血液BM開発とその検証	×
シンポジウム9	SY9-1	柳澤 春明	クライオ電顕による色素分散症候群の病態解明	○
シンポジウム9	SY9-2	石井 佳誉	固体NMRとクライオ電顕によるアミロイドβ凝集体研究の現状と今後	○
シンポジウム9	SY9-3	田中 元雅	クライオ電子顕微鏡解析によるプリオン株の構造と伝播性の相関解明	×
シンポジウム9	SY9-4	樽谷 愛理	Tau/TDP-43線維構造から読み解くプロテイノパチーの分子病態	×
シンポジウム10	SY10-1	平田 祐介	生体膜脂質の多様性が規定する神経変性ストレス応答	○
シンポジウム10	SY10-2	河野 望	ホスファチジルイノシトール脂肪酸鎖リモデリングの大脳皮質形成における意義	○
シンポジウム10	SY10-3	河野 孝夫	分泌タンパク質リーリンの多層的制御と神経細胞膜機能：アルツハイマー病病態との接点	○
シンポジウム10	SY10-4	坂内 博子	膜流動性が制御するシナプス分子ダイナミクス―神経生理から神経変性へ―	○

第45回日本認知症学会学術集会 第41回日本老年精神医学会 合同大会
オンデマンド配信一覧

※ポスター発表、共催セミナー、市民公開講座、研究者交流プログラムのオンデマンド配信はありません。

セッション名	演題番号	演者名　※敬称略	演題名	オンデマンド配信
シンポジウム11	SY11-1	小原 知之	認知症の人が社会参加するために必要なもの	○
シンポジウム11	SY11-2	笠貫 浩史	認知症の人の暮らしとDEI ―「認知症観」から考える個の尊重―	○
シンポジウム11	SY11-3	北村 ゆり	「まずご本人にお伺いしても良いですか」から始まる認知症診療	○
シンポジウム11	SY11-4	党 一浩	認知症当事者から学ぶインクルーシブなまちづくり	○
シンポジウム12	SY12-1	稲垣 千草	街ぐるみ認知症相談センターにおける受診前相談の取り組み	○
シンポジウム12	SY12-2	松田 修	心理検査の役割と意義：認知症医療における適正使用と活用促進	○
シンポジウム12	SY12-3	田所 正典	抗Aβ抗体薬治療に関わる心理師の役割～意義と課題について～	○
シンポジウム12	SY12-4	松田 千広	認知症診断後の本人・家族の心理社会的支援に公認心理師が関わる意義と制度的課題	○
シンポジウム12	SY12-5	扇澤 史子	チーム医療における認知症とともに生きる人への身体疾患入院から看取りまでの心理支援	○
シンポジウム13	SY13-1	薛 載勲	身体動作特性に基づく認知機能低下の超早期兆候	○
シンポジウム13	SY13-2	尹 之恩	身体活動・スクエアステップ運動と認知機能およびアミロイド指標	×
シンポジウム13	SY13-3	小林 正朋	デジタルバイオマーカーによる認知症・MCIの早期検出	×
シンポジウム13	SY13-4	根本 みゆき	MCIに対する多因子介入の実践と課題	○
シンポジウム13	SY13-5	樽味 孝	運動による脳老廃物クリアランスと認知症予防の生理学的機序	○
シンポジウム14	SY14-1	奥山 智緒	アミロイドPETのヒストグラムを用いた新規客観的評価法の開発	○
シンポジウム14	SY14-2	久保田 学	タウPETイメージングに基づく老年期精神神経疾患の病態解明	○
シンポジウム14	SY14-3	阿部 弘基	AMPA受容体PETイメージングによるシナプス病態と可塑的変化の画像化	○
シンポジウム14	SY14-4	原田 龍一	［^{18}F］SSMBT-1によるReactive astrogliosisの画像化とAD病態における意義	○
シンポジウム14	SY14-5	木村 泰之	次世代ミクログリアPETイメージング ― CSF1Rを標的とした脳内ミクログリアの可視化	○
シンポジウム15	SY15-1	田岡 俊昭	DTI-ALPS法の現在	○
シンポジウム15	SY15-2	亀田 浩之	O17標識水MRIによる脳脊髄液・間質液動態の解析	○
シンポジウム15	SY15-3	山田 薫	AQP4活性化によるグリンパティック輸送促進とタウ病態の制御	○
シンポジウム16	SY16-1	征矢 英昭	運動ホルミシス効果による認知症予防	×
シンポジウム16	SY16-2	榊間 春利	アルツハイマー病モデル動物を用いた認知症予防に関する研究	○
シンポジウム16	SY16-3	竹内 春樹	嗅覚による脳状態制御 ～認知症に対する疾患修飾療法の可能性～	×
シンポジウム16	SY16-4	長谷 芳樹	認知症領域における40 Hz感覚刺激研究の現状と課題 ～光・音・ガンマ波サウンド～	○
シンポジウム17	SY17-1	多田 美佳	当事者家族からみた経済支援の現状と課題	○
シンポジウム17	SY17-2	杉山 京	認知症のある人の生活を支える法制度とその活用方法	○
シンポジウム17	SY17-3	木村 亜紀子	診断後の継続受診を支える公費負担制度の概要と適用範囲の課題	×
シンポジウム17	SY17-4	竹本 与志人	認知症と経済問題が抑制する支援行動と支援要請	○
シンポジウム18	SY18-1	粟田 主一	「新しい認知症観」と「共生社会」	○
シンポジウム18	SY18-2	宇良 千秋	農園を活用した社会的処方：新しい認知症観の醸成	○
シンポジウム18	SY18-3	井藤 佳恵	わが国の認知症観の歴史-認知症観は何のためにつくられ何を実現しようとしてきたのか-	○
シンポジウム18	SY18-4	郷堀 ヨゼフ	診断、家族、文化、制度の交差点　～認知症観の変容に関する国際比較～	○
シンポジウム18	SY18-5	笠貫 浩史	認知症観概念の構成因子について	○

第45回日本認知症学会学術集会 第41回日本老年精神医学会 合同大会
オンデマンド配信一覧

※ポスター発表、共催セミナー、市民公開講座、研究者交流プログラムのオンデマンド配信はありません。

セッション名	演題番号	演者名　※敬称略	演題名	オンデマンド配信
シンポジウム19	SY19-1	中嶋 秀人	ウイルス感染・再活性化と神経炎症：HSV-1・SARS-CoV-2を中心に	○
シンポジウム19	SY19-2	横山 和正	Aβ・タウの感染防御応答はなぜneuroinflammagingへ転じるのか	○
シンポジウム19	SY19-3	下畑 享良	環境曝露と神経炎症 ―大気汚染（PM2.5）とマイクロ・ナノプラスチック―	○
シンポジウム19	SY19-4	森 泰子	神経炎症を標的とした認知症予防 ―ワクチン・抗ウイルス薬の最新エビデンス―	○
シンポジウム20	SY20-1	佐藤 恒太	抗Aβ抗体薬診療の入口・治療・出口 ― DMC外ハイボリューム施設から	○
シンポジウム20	SY20-2	新美 芳樹	抗Aβ抗体薬の課題～専門医向けアンケートの結果から～	○
シンポジウム20	SY20-3	冨本 秀和	抗Aβ抗体薬の患者・家族調査から見えてきた抗Aβ抗体療法の課題	○
シンポジウム20	SY20-4	井原 涼子	前臨床期アルツハイマー病に対する発症前介入の展望	○
シンポジウム20	SY20-5	齊藤 貴志	基礎研究者から見た抗Aβ抗体療法の現状と今後の展望	○
シンポジウム21	SY21-1	池内 健	アルツハイマー病に対するゲノミクスの進展と臨床応用	○
シンポジウム21	SY21-2	菊地 正隆	シングルセル・空間トランスクリプトーム解析から解き明かすアルツハイマー病病態	×
シンポジウム21	SY21-3	木村 公俊	免疫チェックポイント分子によるミクログリア機能制御とアルツハイマー病	○
シンポジウム21	SY21-4	佐治 直樹	腸内細菌の機能的特徴と認知症：「細菌-脳」の視点から	○
シンポジウム21	SY21-5	間野 達雄	マルチオミクス統合によるアルツハイマー病の層別化	×
シンポジウム22	SY22-1	山田 薫	タウシード動態と細胞外プロテオーム解析から探るタウオパチー病態進展機構	×
シンポジウム22	SY22-2	上村 麻衣子	脳血流・血管周囲環境の変容から探るタウオパチー進展機構	×
シンポジウム22	SY22-3	松本 弦	アグリファジー促進を標的としたタウ凝集体分解の創薬研究	○
シンポジウム22	SY22-4	石垣 診祐	持続性に優れた核酸医薬を用いたタウオパチー治療法開発	○
シンポジウム23	SY23-1	齊藤 貴志	グリア細胞-末梢免疫連関から見たアルツハイマー病の病態形成機構	○
シンポジウム23	SY23-2	舟本 聡	Aβ40とAβ42を作り分けるしくみ：γセクレターゼによる逐次切断機構	○
シンポジウム23	SY23-3	岩田 修永	ピログルタミル化Aβの特性と生成機構	×
シンポジウム23	SY23-4	橋本 翔子	CAPONを介したレドックス依存性NOシグナル制御と認知症病態への関与	×
シンポジウム23	SY23-5	永田 健一	アミロイドβの質的な違いはミクログリアに影響するか　―ノックイン型モデルの比較―	×
シンポジウム23	SY23-6	遠藤 史人	アストロサイト多様性の解明から迫るアルツハイマー病の分子病態と治療戦略	×
シンポジウム24	SY24-1	鷲見 幸彦	若年性認知症の人への医療と支援　－若年性認知症の人への医療と支援の現状と方向性－	○
シンポジウム24	SY24-2	武田 章敬	認知症疾患医療センターにおける若年性認知症診療	○
シンポジウム24	SY24-3	齊藤 千晶	若年性認知症支援コーディネーターの役割	○
シンポジウム24	SY24-4	表 志津子	働くことと認知症－診断後もその人らしく生きるために－	○
シンポジウム24	SY24-5	中西 亜紀	若年性認知症施策の現状と課題～共生社会の実現を推進するための認知症基本法への期待～	○
シンポジウム25	SY25-1	眞木 崇州	脳アミロイド血管症における血管周囲環境の変容と排泄機構の破綻	○
シンポジウム25	SY25-2	安藤 昭一朗	脳小血管病の分子機構と遺伝学的背景－RVCLにみる血管・グリア・免疫連関－	○
シンポジウム25	SY25-3	山本 誠士	脳血管を基軸とした血管周囲細胞群の病態生理学的役割の検討	○
シンポジウム25	SY25-4	久保田 義顕	リンパ管のイメージングとリンパ弁の形成機構	×
シンポジウム25	SY25-5	西山 功一	血管周囲微小環境の力学基盤：血流と基底膜剛性による血管新生制御原理	○

第45回日本認知症学会学術集会 第41回日本老年精神医学会 合同大会
オンデマンド配信一覧

※ポスター発表、共催セミナー、市民公開講座、研究者交流プログラムのオンデマンド配信はありません。

セッション名	演題番号	演者名　※敬称略	演題名	オンデマンド配信
シンポジウム26	SY26-1	東 晋二	疾患修飾薬の意思決定の背景にある当事者の社会心理的背景	○
シンポジウム26	SY26-2	井藤 佳恵	抗体医薬時代の診断告知は、何を変えたのか―認知症診療におけるSDMと診断後支援	○
シンポジウム26	SY26-3	小賀野 晶一	認知症診療における、告知と意思決定支援の法的観点からの意義	○
シンポジウム26	SY26-4	加藤 佑佳	認知症診療における意思決定能力評価と支援―MacCAT-Tの臨床応用―	○
シンポジウム26	SY26-5	井原 涼子	疾患修飾薬時代の患者説明 －最新知見を意思決定につなげる－	○
シンポジウム27	SY27-1	松岡 照之	MBI の概要、AD の初期症状としての NPS、 MBI について	○
シンポジウム27	SY27-2	船山 道隆	Mild Behavioral Impairmentの概念の中での脳血管障害	○
シンポジウム27	SY27-3	小林 良太	DLBの初期症状としてのNPSとMBI	○
シンポジウム27	SY27-4	品川 俊一郎	FTLD の前駆症状・初期症状としてのNPS、MBI	○
シンポジウム28	SY28-1	溝上 顕子	性ホルモン・栄養シグナルによるミクログリアの機能制御とアルツハイマー病の性差形成	○
シンポジウム28	SY28-2	笹岡 利安	糖尿病での性差を捉えた認知障害の分子メカニズム	○
シンポジウム28	SY28-3	生島 芳子	カロリー制限効果の性差と加齢に伴う変化	×
シンポジウム28	SY28-4	高山 賢一	性ホルモン受容体による神経エピゲノム制御とアルツハイマー型認知症発症機構	○
シンポジウム29	SY29-1	山中 克夫	多角的な心理・社会的支援の全体像及び本人への心理的支援	○
シンポジウム29	SY29-2	河野 禎之	認知症の人の社会参加を実現するために：先進的実践から考える障壁と手がかり	×
シンポジウム29	SY29-3	樫村 正美	認知症フレンドリー地域における介護家族への心理的支援	○
シンポジウム29	SY29-4	野口 代	認知症フレンドリー地域を支えるBPSD対応と職員支援	○
シンポジウム29	SY29-5	目 麻里子	認知症理解の普及促進と認知症フレンドリー地域の実現に向けた取り組み	○
シンポジウム30	SY30-1	矢吹 知之	認知症における『空白の期間』の実態と支援連携の課題	○
シンポジウム30	SY30-2	嶽北 佳輝	早期診断、早期治療の動向と診断後支援における作業療法への期待～医師の立場から～	○
シンポジウム30	SY30-3	石丸 大貴	診断後の生活支援を目指したリハビリテーション実践～大学病院における作業療法実践～	○
シンポジウム30	SY30-4	泉 里加子	早期受診者への伴走支援：当院と診断後支援センターハルカゼの取組み	×
シンポジウム31	SY31-1	山中 しのぶ	認知症当事者から見るPPIへの期待と課題	○
シンポジウム31	SY31-2	森口 奈菜	研究ニーズ探索の実践を通じて考える認知症研究への本人・家族等の参画	○
シンポジウム31	SY31-3	山口 創生	精神保健分野における患者市民参画と共同創造	○
シンポジウム31	SY31-4	古結 敦士	PPIは何を目指すのか―希少疾患領域における実践から	○
シンポジウム31	SY31-5	武藤 香織	患者・市民参画の現状と課題	○
シンポジウム32	SY32-1	安藤 昭一朗	CADASIL診療における遺伝カウンセリングが果たす役割を考える	○
シンポジウム32	SY32-2	齊藤 聡	CADASIL診療の現在地と課題：Physician-Scientistの視点	×
シンポジウム32	SY32-3	勝井 恵子	AMEDにおける患者・市民参画（PPI/E）の取組	○
シンポジウム32	SY32-4	患者 当事者	CADASILの当事者として生きる、支え合う	×
シンポジウム32	SY32-5	縄野 雅夫	CADASIL治療薬の研究開発	×
シンポジウム33	SY33-1	加藤 佑佳	非対面支援時代におけるトラスト形成支援の課題：認知症支援の現場から	○
シンポジウム33	SY33-2	上野 大介	認知的脆弱性を有する高齢者の信頼判断と詐欺被害予防	○
シンポジウム33	SY33-3	シリアーラヤ パノット	認知症の人を支援する信頼性の高い対話型AIエージェントの設計および開発	○
シンポジウム33	SY33-4	松岡 照之	認知症支援現場におけるトラスト形成支援の社会実装に向けた課題と展望	○

第45回日本認知症学会学術集会 第41回日本老年精神医学会 合同大会
オンデマンド配信一覧

※ポスター発表、共催セミナー、市民公開講座、研究者交流プログラムのオンデマンド配信はありません。

セッション名	演題番号	演者名　※敬称略	演題名	オンデマンド配信
シンポジウム34	SY34-1	藤岡 祐介	背側海馬台ーVTA回路の脆弱性とタウ標的治療への示唆	×
シンポジウム34	SY34-2	高島 明彦	嗅内野タウ伝播を阻止する脳のレジリエンス：同期シグナルによる認知症予防制御	○
シンポジウム34	SY34-3	小野 麻衣子	タウ病態におけるアストロサイト-神経代謝連関の破綻	○
シンポジウム34	SY34-4	渡辺 宏久	ヒトのタウPET画像と経路統合能から考えるアルツハイマー病の最初期病態	○
シンポジウム35	SY35-1	小林 江里香	中高年者における孤独感：性・婚姻状況別にみた現状と課題	○
シンポジウム35	SY35-2	太刀川 弘和	孤立・孤独問題と地域医療	○
シンポジウム35	SY35-3	新村 秀人	孤独を抱える高齢者への精神療法	○
シンポジウム35	SY35-4	前田 展弘	高齢者の孤独予防（防止）のための社会参加支援策	○
シンポジウム36	SY36-1	小河 拓人	認知症介護におけるレジリエンス向上の為の初期対応と地域包括の役割	○
シンポジウム36	SY36-2	太田 俊輔	かかりつけ医の家族支援；伴走型支援の持続性・世代継承性とかかりつけ医の世代継承性	○
シンポジウム36	SY36-3	繁信 和恵	認知症疾患の診断直後の不確実性	○
シンポジウム36	SY36-4	江頭 関巳	いち認知症医療センターの実践～パーキングセンターin飯塚での取り組みを通じて～	○
シンポジウム36	SY36-5	大庭 輝	診断後の心理的移行を支える：家族の心理プロセスとその支援	○
シンポジウム37	SY37-1	伊東 大介	抗アミロイドβ抗体薬治療ストラテジー　～アルツハイマー病先制医療をどう考えるか～	○
シンポジウム37	SY37-2	新井 哲明	認知症治療の多面的価値評価　-厚労省班研究の結果から-	○
シンポジウム37	SY37-3	髙瀬 義昌	認知症の進行をいかに遅らせるか― 在宅医療が実践する入院回避と多面的アプローチ ―	○
シンポジウム37	SY37-4	冨田 清行	企業の立場からみた多面的価値評価	○
シンポジウム38	SY38-1	品川 俊一郎	BPSDに対するガイドラインの現在地	○
シンポジウム38	SY38-2	西尾 慶之	コリンエステラーゼ阻害薬レスポンダーの見極め	○
シンポジウム38	SY38-3	永田 智行	抗精神病薬の使用場面、薬剤選択、用量設定	○
シンポジウム38	SY38-4	馬場 元	抗うつ薬は有用なのか？―BPSDにおける抗うつ薬の適正使用を考える―	○
シンポジウム38	SY38-5	小林 又三郎	認知症の重度NPS治療における電気けいれん療法（ECT）の位置付け	○
シンポジウム39	SY39-1	小川 朝生	エビデンスに基づくせん妄ハイリスク患者の同定と予防的対応	○
シンポジウム39	SY39-2	西澤 由貴	生物学的アプローチによるせん妄ハイリスク患者の同定	○
シンポジウム39	SY39-3	貞廣 良一	せん妄予防における非薬物的介入と薬物的介入	○
シンポジウム39	SY39-4	八田 耕太郎	せん妄のマネージメント	○
シンポジウム40	SY40-1	横田 修	OnariとSpatzのピック病からTAF15まで：歴史的背景	×
シンポジウム40	SY40-2	木村 朴	FTLD-FET/TAFと若年発症bvFTDの臨床神経病理	×
シンポジウム40	SY40-3	森 康治	全国レジストリFTLD-Jからみた日本人前頭側頭型認知症の遺伝学的背景	×
シンポジウム40	SY40-4	樽谷 愛理	構造生化学的視点から考える新たな疾患分類：FTLD-TAF15	×
シンポジウム41	SY41-1	加藤 伸司	災害時における認知症の人と家族のケア～東日本大震災時の避難所の状況に学ぶ～	○
シンポジウム41	SY41-2	山崎 正人	熊本地震の支援活動～支援活動可視化の重要性	○
シンポジウム41	SY41-3	高橋 晶	DPAT など医療系派遣型支援の役割と課題	○
シンポジウム41	SY41-4	中西 亜紀	日本認知症学会老健事業調査から～能登半島地震を中心に～	○

第45回日本認知症学会学術集会 第41回日本老年精神医学会 合同大会
オンデマンド配信一覧

※ポスター発表、共催セミナー、市民公開講座、研究者交流プログラムのオンデマンド配信はありません。

セッション名	演題番号	演者名　※敬称略	演題名	オンデマンド配信
シンポジウム42	SY42-1	茶谷 佳宏	特発性正常圧水頭症(iNPH)の精神症状	○
シンポジウム42	SY42-2	中島 円	Non DESH タイプの水頭症	○
シンポジウム42	SY42-3	末廣 聖	iNPHと神経変性疾患-併存の見極めと治療法の選択-	○
シンポジウム42	SY42-4	田岡 俊昭	iNPHの白質の病態	○
シンポジウム42	SY42-5	山田 茂樹	20年ぶりの国際iNPH診療ガイドライン改定の概要	○
シンポジウム43	SY43-1	粟田 主一	認知症疾患医療センターの事業実績の変遷と求められる役割の変化	○
シンポジウム43	SY43-2	武田 章敬	一般病院の認知症疾患医療センターに求められる役割	○
シンポジウム43	SY43-3	深澤 隆	精神科病院が担う認知症疾患医療センターの役割と展望―診断から診断後支援へ―	○
シンポジウム43	SY43-4	新井 哲明	基幹型認知症疾患医療センターに求められる役割	○
シンポジウム43	SY43-5	田中 志子	実践知をつなぐ認知症疾患医療センター全国研修会	×
シンポジウム44	SY44-1	田中 元雅	プロテイノパチーの病態解明を目指したアミロイドの統合的理解へ向けて	○
シンポジウム44	SY44-2	玉井 真悟	アルツハイマー型タウ線維の高次集合に伴う脱凝集耐性	×
シンポジウム44	SY44-3	遠藤 良	Co-translational nascent polypeptide aggregation in neurodegenerative disorders	×
シンポジウム44	SY44-4	真板 宣夫	TDP-43-LCDの病原性変異の物理化学的性質	×
シンポジウム44	SY44-5	佐原 成彦	タウ凝集伝播モデルを用いた凝集・脱凝集メカニズムの探索	○
シンポジウム45	SY45-1	笠貫 浩史	統合失調症概念の歴史的変遷―認知機能の観点を踏まえて	○
シンポジウム45	SY45-2	小林 良太	精神科診断で初発した認知症患者の剖検例から	○
シンポジウム45	SY45-3	竹田 和弘	統合失調症の陰性症状と認知機能障害の器質的理解―神経発達から加齢・神経変性まで―	×
シンポジウム45	SY45-4	関口 裕孝	双極症（双極性感情障害）の長期経過と認知症	×
シンポジウム45	SY45-5	大島 健一	精神疾患の死後脳研究の疾病理解における有用性	○
シンポジウム46	SY46-1	釘宮 嘉浩	口腔機能の低下と認知機能障害：疫学的知見の整理	○
シンポジウム46	SY46-2	木本 克彦	咀嚼と認知機能・認知症との関連性　―臨床研究からの考察―	○
シンポジウム46	SY46-3	笛木 賢治	医科でも可能な歯科的評価	○
シンポジウム47	SY47-1	小賀野 晶一	終末期医療の法と倫理について --- 民法の視点から	○
シンポジウム47	SY47-2	児玉 聡	タツトリかノトナレか――認知症終末期における意思決定支援の課題	○
シンポジウム47	SY47-3	井藤 佳恵	終末期医療の倫理的課題についてー精神医療の視点から	○
シンポジウム47	SY47-4	小川 朝生	認知症の人の終末期における臨床課題について　緩和ケアの視点から	○
認知症CPC	-	-	症例1	○
認知症CPC	-	-	症例2	×
日本認知症学会 学会賞受賞講演	学	山田 薫	細胞外タウの放出から排出まで―神経変性疾患の新たな病態理解	○